

# 総 会 議 事 録

日 時 昭和33年5月15日 10.45~12.20

場 所 気象研究所 第1講堂

出席普通会員 104名

委任状総数 325名

5月10日調べで普通会員は1,492名(A会員1,127名, B会員365名)で, 定款第36条による最低出席者99名, 委任状199名の条件を満しているので総会は成立.

次に議長は出席会員の互選によるのであるが, 時間の節約上理事会の決議により, 小平大会委員長を推すことを一同に計り, 満場一致同氏と決定した.

小平吉男氏が議長席につき, 総会が開始せられたが, その内容は次の通りである.

(1) 挨拶 島山理事長

(2) 学会賞贈呈 //

(内容別記参照)

(3) 昭和32年度事業経過報告 淵 理事

(4) 75周年記念事業経過報告 伊東 理事

(5) 昭和32年度収支決算報告 高橋 理事

異議なく承認された(別表参照)

(6) 75周年記念事業収支決算報告 //

異議なく承認された(別表参照)が, 昭和33年度分未済の分については第9期常任理事で解決することとなった.

(7) 本年度事業計画案並びに予算案審議 //

原案通り可決された(別表参照)

(8) 提出議題審議 淵 理事

(i) 定款一部改正に関する件

第36条中 通常会員の総数の15分の1以上……を通常会員25分の1以上と改める.

改正理由

現在会員は約1,500名おり, 15分の1以上の条件は100名以上の出席を必要とする. このため, 総会を地方で行うときは, 総会が成立しないおそれが多い. また, 会員数の変動もあるので, 25分の1以上にしたい. なお, 委任状を含めた出席会員数は従来通り.

(ii) 総会および大会の開催地に関する件

毎年大会を東京1回, 各地区で順次1回(例えば今年九州地区なら来年は関西地区……)とし, 総会は東京および当番地区との協議の上決

定する.

以上2議題のうち第1のものは昨年から継続審議のもので, 第2のものについては前以って各支部の意見を求め, また昨年の総会の決議にもとずき予め議題を各会員に示し, これの賛否につき委任状を提出するよう依頼した旨淵理事から説明があり, 事務当局としては, 定款改正はもう1年延ばしたき旨意見があった.

これら2議題に関し, 各支部とも概ね賛成であるが, 関西支部は附帯条件として第36条中「前項の場合, 委任状および書面によらないで出席する通常会員は, 通常会員現在総数の15分の1以上でなければならない」を削除する意見で, 各支部を代表して孫野理事, 山本(義)理事, 滑川支部長, 武田理事の説明が夫々なされた. また山本(義)理事, 高橋(浩)理事, 吉武理事, 神山理事の第1議題の賛成意見があり, 内海理事から25分の1にした根拠の質問に対し, 淵理事, 神山理事から論文の提出数と旅費等により出席し得る数が大凡, 60名内外の説明があった. ここで島山理事長から以上をまとめて, 結局原案および関西案につき賛否を問うべきであると提案され, 議長の発言で賛否の決をとり, 次の通りとなった.

第1議題 出席会員による 賛 98 否 5 小計103  
委任状による 賛232 否141 // 373  
合 計 賛330 否146 総数476

以上総数476の3分の2は317で定款第51条により原案が採択された. ただし, 理事長の発言により, 同条中なお文部大臣の認可を受ける必要があるので定款変更の成立は認可後となる.

第2議題については満場一致で可決された.

(9) その他 淵 理事

前項の議題が一応可決されたので, 理事会としての下記案を提出し, 満場一致で可決された.

記

(イ) 本年秋の大会は仙台で行う.

(ロ) 来年度の当番地区は九州地区とする.

なお懇談として講演の実施方法および機関誌編集方法に関する要望に対し意見が交換された.

昭和 32 年度 取 支 決 算 書

取 入		支 出	
会 費	2,079,258円	印刷編集費	2,040,761円
雑誌, 図書頒布	719,017	気象集誌	(724,471)
気象研究ノート	(532,504)	天気	(1,011,440)
雑 図 書	(183,513)	気象研究ノート	(804,850)
雑 収 入	64,231	頒布図書購入費	44,910
仮 受	6,750	發送通信費	199,288
前期繰越金	179,832	会 議 費	90,439
		大会, 総会費	(30,750)
		大役員会費	(40,689)
		例 会 費	(19,000)
		学 会 費	28,000
		支部交付金	50,400
		事 務 費	317,305
		職員給与費	(247,350)
		物品印刷費	(17,799)
		雑 経 費	(52,156)
		特別事務費	179,945
		職員退職積立金	20,000
		仮 払	6,000
		後期繰越金	69,040
合 計	3,046,088	合 計	3,046,088
基 本 金	150,000	変 化 な し	

35巻2号~6号  
4巻4号~5巻3号  
8巻2号~9巻1号

用語委員会費を含む  
75年史印刷等

昭和 33 年度 取 支 予 算 書

取 入		支 出	
会 費	2,389,000円	印刷編集費	2,366,000円
A 会 員	1,080 × 1,050 = 1,134,000	気象集誌	(874,000)
B 会 員	2,040 × 389 = 775,000	天気	(908,000)
団 体 会 員	1,500 × 320 = 480,000	気象研究ノート	(584,000)
雑誌, 図書頒布	910,000	頒布図書購入費	100,000
気象研究ノートの他	600 × 950 = 760,000	發送通信費	190,000
	150,000	会 議 費	85,000
雑 収 入	60,000	大会, 総会費	(35,000)
前期繰越金	69,040	大役員会費	(30,000)
前年度未納分	60,000	例 会 費	(20,000)
		学 会 費	28,000
		支部交付金	56,000
		事 務 費	405,000
		職員給与費	(265,000)
		物品印刷費	(40,000)
		雑 経 費	(100,000)
		予 備 費	100,000
		職員退職積立金	20,000
		集誌未印刷分	107,000
		後期繰越金	71,040
合 計	3,528,040	合 計	3,528,040

36巻1号

職員退職積立金 20,000

## 75周年記念事業収支決算書

(昭和33年4月30日現在)

収 入		支 出	
寄 附 金	31 年 度 77,000	会 合 費 (記念式典等)	196,120
	32 年 度 241,000	記念論文集印刷費 和文	327,730
頒 布	109,990	欧文(内金)	255,000
広 告 料	372,000	繰 越	21,140
合 計	799,990	合 計	799,990

(昭和33年5月以降予定)

収 入		支 出	
繰 越	21,140	論文集未払分	520,590
広 告 料	200,000		
別 刷 代 金	19,450		
頒 布	170,000		
寄 附 金	110,000		
合 計	520,590	合 計	520,590

## 関西支部の新役員決定

(気学関第8号)  
(昭和33年5月)

関西支部の新役員とその担当業務は次のように決定しました。

支 部 長 滑 川 忠 夫  
 常 任 理 事 大 谷 東 平 (会計担当)  
 同 上 北 田 道 男 (庶務担当)  
 同 上 柴 田 淑 次  
 同 上 喜 多 村 一 男 (連絡, 月例会担当)  
 理 事 青 木 滋 一  
 同 上 川 崎 英 男  
 同 上 仁 科 伸 彦

理 事 赤 井 清 康  
 同 上 野 口 篤 美  
 同 上 種 村 郁 三  
 幹 事 一 色 光 雄  
 同 上 西 口 敏 久  
 同 上 近 藤 進 一  
 同 上 板 東 丕